

# 広島市植物公園

## 見どころ案内

### シクラメン・ヘデリフォリウム (サクラソウ科)

ロックガーデンで、種から育てた野生のシクラメンが咲き始めました。花後の花茎がくるくると巻くので、ギリシャ語の円を意味するキクロスから名がつけました。蚊取り線香のように巻いた花茎も見ることができます。

### オジギソウ (マメ科)

さわると葉を閉じることはよく知られていますが、日差しが強い時や夜も葉を閉じています。ネムノキの花に似たピンクの花が満開です。

### シカクマメ (マメ科)

サヤに4枚の翼があり、断面が四角に見えるので名がつけました。別名X(エクス)豆。熱帯、亜熱帯地域で古くから栽培され食用になります。

### 特別企画展 <sup>らんかふ</sup>蘭花譜展

9/14(土)~12月23日(月・祝)

展示資料館1階展示室にて開催

「蘭花譜」は、ランの収集家 加賀正太郎氏が人生をかけて監修・制作した104枚の植物図譜です。うち83枚が浮世絵の木版画の技法で印刷されました。一流の、蘭の収集家、栽培家、日本画家、木版の彫師、摺師が作りあげた幻のコレクションを前・中・後期に分けてすべて展示します。芸術的にも大変価値のあるカラー図譜です。

※10/17まで前期 展示中!

中期 10/19~ 後期 11/23~

### ミヤギノハギ 宮城野萩 (マメ科)

ケハギから作られたといわれています。花序の大きさや枝垂れる姿の美しさが特徴。

### ヤマハギ (マメ科)

別名エゾヤマハギ。日本中の山でふつうに見られる萩です。朝鮮半島、中国などにも自生しています。

### シラハギ (マメ科)

#### ニシキハギ (マメ科)

#### ソメワケハギ (マメ科)

3種ともジャポニカの学名がついていて、ビッチュウヤマハギをもとに交雑によってできたと考えられています。シラハギは白花、ニシキハギは紅紫色、ソメワケハギは枝変わりです。白と紅紫の花、または一つの花が白と紅紫のしぼりになって咲きます。

### オオバハギ (マメ科)

中国原産の萩です。葉が大きく、毛深いのが特徴です。花期が長く、6月末頃から9月末まで次々と花穂を出して咲きます。

### オオモクゲンジ (ムクロジ科)

中国原産の落葉高木です。枝先に黄色い小さな花が房になって咲きます。つる草のフウセンカズラの仲間で、実はピンクの風船状になります。今は若い実が赤い花のように見えます。展望塔の屋上からよく見えます。

